

前回評議会での委員の主なご発言とグローバルイノベーション創出支援事業(GI事業)の取組みの現状

GI事業の目標:世界に通用するイノベーションを大阪から起こす。そのためのエコシステムを大阪・関西に構築する。

平成29年度第1回評議会 での委員の主なご発言	GI事業のプロセス (アウトプット) グローバルイノベーション 創出のための主要課題	情報発信	コミュニティ形成	プロジェクト創出	ショーケース(国際会議)
<p>【若い人たちをどう引き込むか?】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若い人に刺激を与えられる熱量の高い人を呼び込むために、OIHをもう少しイノベティブな、クリエイティブな場所にする必要があるのではないか。</li> <li>若い間に生産から販売まで丸ごと1回小さくてもいいから成功体験をもつことが重要。</li> </ul>	<p>情報発信</p>	<p>HP、SNS、メルマガ等を通じてのイベント告知、イベント結果広報</p>			<p>・英語で開催し、動画配信等を通して大阪の取組を国内外に発信</p>
	<p>イノベーション人材のすそ野を広げる ≒若い人々をどう引き込むか?</p>	<p>・起業経験者をHPで紹介し、後進のマインドを醸成</p>	<p>・民間との共催による様々なテーマのセミナーやワークショップ等のイベント開催 ・海外WS</p>	<p>・教育プログラム等イベント開催</p>	<p>・国内外で活躍する起業家等による講演やHack Awardによるマインド醸成</p>
<p>【産業界をどう巻き込むか?】 【多様なつながりをどう生み出すか?】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間を巻き込んだイノベーションエコシステムをつくるための仕掛けをどうするか。(わくわくする思想、コンセプトは?)</li> </ul>	<p>プロジェクトをどう生み出すか? (0→1案件創出) (経済的インパクトの大きいビジネスアイデアをどう案出させるか?)</p>			<p>・教育プログラム ・ハッカソン</p>	
<p>・民間を巻き込んだイノベーションエコシステムをつくるための仕掛けをどうするか。(わくわくする思想、コンセプトは?)</p>	<p>プロジェクトのタネをどう育てるか? (産業界を巻き込んだアクセラレーション)</p>			<p>・OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP)</p>	
<p>・具体的な次のアクションを示さないと、なかなか産業界が動かない。</p>	<p>オープンイノベーションの推進(大企業との連携)</p>		<p>・民間との共催による様々なテーマのセミナーやワークショップ等のイベント開催</p>	<p>・ピッチイベント ・OSAP</p>	<p>・Hack Award登壇企業と国内大企業等との商談</p>
<p>・今まで集まってきた人たちが単発ではなくて相互につながっていくような仕組みや進め方を検討する必要がある。</p>	<p>大学発ベンチャー創出支援</p>			<p>・テックミーティング</p>	
<p>・大企業とスタートアップをマッチングさせることによるネットワーク効果を得られるのは大阪の強み。</p>	<p>グローバル化</p>	<p>・英語による発信</p>	<p>・海外WS (・海外ネットワーク構築)</p>	<p>・欧米の国際ピッチの日本予選(日本→欧米)</p>	<p>・Hack Award(海外→日本) ・Monozukuri Hardware Cup日本予選(日本→ピッツバーグ)</p>